

粕谷和夫の観察日記。八王子・長池公園で野鳥の定期カウント中。スワート飛んできて目の前数メートル先の木の枝に止まってくれたアオバトです。まるで「写真を撮ってくれよ」と思われるほどジットしていてくれました。思いがけない至福のひと時でした。

# 紅葉台



# 新聞

第178号

2025年  
4月19日

発行人：関谷 孝

## 魅力あふれる二つの美術館を巡る

上谷聡枝

世田谷の地に40年、50年と居を構えたお二人の方の美術館をご紹介します。

一つ目は、『長谷川町子美術館・記念館』です。長谷川町子さんと言えば『サザエさん』、皆さまよくご存じですよね。子供の頃、朝日新聞の朝刊で



四コマ漫画の『サザエさん』を読むのを楽しみにしていました。多くの日本人に毎朝笑顔を届けた漫画です。

『長谷川町子美術館』は昭和60年に開館され、令和2年には『長谷川町子記念館』が開館。美術館ではコレクションを記念館では長谷川町子の世界を楽しめます。最寄り駅は東急田園都市線桜新町駅。改札出て地上に上がるとサザエさん一家が笑顔で出迎えてくれます。そして桜新町の名のとおりお花見の季節には桜並木もお出迎えます。渋谷まで10分の近さですが落ち着きと親しみを感じる街です。余談ですが、EXILEのタカヒロが住んでいます笑。

長谷川町子さんは三人姉妹の真ん中です。姉の毬さんも藤島武二に油絵を学ばれた才能を持っていらっしゃいましたが『姉妹社』という出版社をつくりサポート役に回られました。『美術館』は姉妹お二人が感性に響いた美術品・工芸品が蒐集されています。つまり投資目的ではなくお二人が心底気に入られた品々ですので、作品を前にするとお二人の感性が伝わってくるような不思議な感覚になります。

道を隔てた場所に『記念館』があります。長谷川町子さんの年譜、漫画家になったきっかけ、仕事部屋の再現・・・と興味深くいろいろ楽しめますが、一番は作品ではないかと。ここではサザエさんだけでなく、『意地悪ばあさん』『エプロンおばさん』の原画、パソコンで取り込んだ漫画が見られます。その漫画が面白く読んでいると画才もですがウィットに富んだ、ユニークなユーモア溢れる発想に感服です。記念館の中には素敵なショップとカフェもあります。



桜新町商店街を歩いていますとサザエさんの姿をあちらこちらで見かけます。そしてお菓子にも。お勧めはサザエさんの顔が焼き印されている『伊勢屋』のどら焼きと『ヴィヨン』のバームクーヘン。とても美味しくお土産にも最適です。両店とも駅から1分以内。

二つ目は、世田谷美術館分



館の『向井潤吉アトリエ館』です。

向井潤吉さんは私が大学の時にたまたま足を運んだ展覧会で知り、その時彼の絵画にすっかり魅了されました。日本の原風景を油絵で描いた絵画が多く、懐かしさ切なさを感じ自然に気持ちが落ち着きます。向井潤吉さんの絵画を知ってから山奥の集落・農村を訪れると彼ならばどのように描くかな、との視点でみてしまいます。この二つの美術館(『美術館・記念館』と『アトリエ館』)は15分くらいしか離れていません。

国民栄誉賞を授与された長谷川町子さん、生涯日本の原風景を描き続けた向井潤吉さん、お二人の作品から日々のストレスが癒されるひと時が得られるのでは、と思います。

長谷川町子美術館 世田谷区桜新町 1-30-6 10:00~17:30 入場料:一般 900円 65歳以上 800円

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、

展示替期間、年末年始 tel:03-3701-8766

向井潤吉アトリエ館 世田谷区弦巻 2-5-1 10:00~18:00 入場料:一般 200円 65歳以上 100円

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、

展示替期間、年末年始 tel:03-5450-9581



## 粕谷和夫の観察日記



東京・府中の緑道を歩いていて、ホトケノザ、ミズナだけでなく、ミツマタの花にも出会いました。ミツマタの樹皮は繊維質が強く、和紙の原料、特に日本紙幣の原料ですよね。緑道は地図に明解に表されていない所が多く、途中で道に迷うと地元の方に尋ねます。今回も6回尋ねました。皆さんとてもよく親切丁寧に道を教えてくださいました。このような触れ合いが見知らぬ道を歩く醍醐味です。



東京・府中市の郷土の森公園から新田川緑道や府中産線沿いを散策して南武線の西府駅まで歩きました。緑道の両側には畑地もあり、ホトケノザとナズナが隙間なく咲き誇っていました。ここにモズ2羽がやって来て賑やかになりました。民家の庭にはオナガも現れさらに賑やかになりました。

自宅近くの天神公園の花壇に昨年9月、秋のお彼岸の時に撒いた菜の花が無事に冬を越し、春のお彼岸の前に花を咲かせてくれました。にわか撮り鉄になりました。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。